

### 障害福祉サービスから見える主な課題

- 福祉施設入所者の地域生活移行を促進するための入所施設、相談支援事業所との連携
- 一般就労への移行では、就労移行支援事業の利用促進及び就労定着状況の検証
- 訪問系・日中活動系サービス：利用者ニーズに対応したサービスの提供、個々人の障害特性に合わせた就労の確保、人材確保、既存施設の利用促進
- 相談支援：施設からの地域移行支援、地域定着支援の促進
- 障害児支援：重症心身障害児の受入れ施設の確保、放課後等デイサービスの充実
- 地域生活支援：障害に対する市民意識向上のための効果的な広報・啓発活動の促進、基幹相談支援センターの機能強化、相談支援専門員の育成・確保、市民・関係機関への成年後見制度の周知、手話通訳者の育成・確保、地域活動支援センターの利用者ニーズに合わせた活動内容の充実

### 障害者グループインタビューからみた問題点・課題

- 相談支援、放課後等デイサービスなど利用者ニーズに合わせた障害福祉サービスの実施
- 障害に対する正しい理解のための情報提供の促進
- 就労の場での障害や障害者の理解促進
- 障害福祉サービスを利用すべき対象者が、円滑に情報を享受できる情報発信方法の改善
- 65歳以上の障害福祉サービスと介護保険サービスと情報発信の改善
- 短期入所施設、医療的ケアが受けられる施設など体制整備の促進
- 仕事の種類の拡大
- 補装具や日常生活用具の更新及び質の向上
- 公共施設や民間施設での障害者（車椅子利用者）の駐車時間の拡大配慮
- 公共施設の窓口での手話通訳者の適切な配置

### 自立支援協議会からの課題

- 入所施設からの地域移行支援の実績がゼロ、相談支援専門員が不足
- 施設から単身生活へ移行する訓練として共同生活援助(以下、GH)の利用が有効だが、空室がほとんどない
- ヘルパー不足のため、利用者の希望があっても新たなニーズに応えられない
- 重度心身障害者（児）を地域で支えるために、医療的ケアができるヘルパーの増員、生活介護事業所の看護体制の整備が必要
- 一般企業への就労を目指す障害者が、社会的なマナーやルールを学んだり、生活能力を高めたりできるなど、就労準備性を高める支援を受けられる事業所が少ない
- 環境の変化、人的変化に対応できず、戸惑う児童が多い。集団に馴染みにくい児童が福祉サービス利用へ流れていくため、専門性の高い支援が必要な児童等の受入が難しい。

### 障害者アンケートからみた問題点・課題（平成26年度調査）

- 日常生活において、知的障害者は全般的に介助の必要性が高く、特に金銭管理・服薬管理、精神障害者も特に金銭管理・服薬管理、身体障害者では外出、高齢者では全般的に介助の必要性が高い
- 介助者はいずれも大半が女性、知的障害者・精神障害者では「父母」、身体障害者・高齢者では「配偶者」
- 将来のくらしでは、「家族と一緒に」が多く、次いで一人、グループホーム、福祉施設など希望は多様である
- 希望する日中の過ごし方は、身体障害者や精神障害者では「会社勤め」、知的障害者では「通所」、高齢者では「自宅で」が多い
- 障害福祉サービス利用の不満の理由は利用時間の制限や緊急時に利用できないなど

### 障害児アンケートからみた問題点・課題（平成29年度）

- 障害福祉サービスの内容の充実、利用しやすさの確保
- 障害児に対する地域住民の理解促進
- 就労の選択肢の拡大及び相談支援等のサポート
- 障害児教育について、わかりやすさを重視した教材や方法の開発、人材育成、人材の質の向上
- 公共交通の維持、道路、施設等でのバリアフリー化の促進

### 第5期障害福祉計画・第1期障害児福祉計画策定にあたっての主な課題

- 障害者の重度化・高齢化等に対応するための地域生活支援拠点等の整備
- 障害者の経済的、精神的自立を促進するための就労支援及び就労定着支援の充実
- 障害者が地域で安心して暮らせるための理解の促進
- 自立した生活を実現するための相談体制の質的向上
- 障害福祉に関する専門的人材の確保と育成
- 精神障害者の地域生活移行の促進とそのための保健、医療、福祉の連携及び情報の共有による体制整備
- 障害者の日常生活を支える福祉サービスの提供の確保
- 障害児や介助者（親）のニーズに対応した放課後等デイサービスなど障害児福祉サービスの充実